2012 年 11 月 1 日

SOHO向けルーターシェア 1 位(注1)のヤマハが無線LAN市場に参入

無線 LAN の「見える化」機能を搭載した、スマートデバイス時代に最適な

ヤマハ 無線 LAN アクセスポイント『WLX302』

－ 2013 年 3 月発売開始 －

ヤマハ株式会社（本社：静岡県浜松市中区中沢町 10-1、社長：梅村 充）は、タブレット PC やスマートフォンなどのスマートデバイスの業務利用が拡大する状況を踏まえ、中小規模ネットワークや SOHO で安定的な無線 LAN 環境を構築できる無線 LAN アクセスポイント『WLX302』（以下、『WLX302』）を 2013 年 3 月より発売し、無線 LAN 市場に参入します。

＜価格と発売日＞

品名	品番	希望小売価格＜税込＞	発売時期
無線 LAN アクセスポイント	WLX302	オープン価格	2013 年 3 月

◎初年度販売計画台数：25,000 台

＜製品概要＞

1995 年にルーター市場に参入して以来、ヤマハ株式会社は、企業ネットワークの進化にいち早く対応することで、中小規模ネットワーク・SOHO を中心とした多くの企業に導入いただき、2012 年 3 月末には累計出荷台数 220 万台を達成しました。このたび、これまでセキュリティーや安定性の観点から本格的な無線 LAN 環境の導入を見送ってきた企業が、タブレット PC やスマートフォンなどのスマートデバイスの利便性を積極的に業務に取り入れ始めた状況を受け、無線 LAN 環境の本格的な導入がさらに進むと判断し、無線 LAN 市場に参入いたします。

無線LAN利用において通信状態が可視化されず、把握しづらいことが課題に挙げられる中で、今回の新製品である『WLX302』は、スマートデバイスと無線LANで単につながるだけでなく、中小規模ネットワークやSOHOで無線LAN環境を構築する際に役立つ機能を搭載し、構築時・導入後の不安を解消できる製品です。『WLX302』には、見えない無線LANの電波を可視化できる「見える化」機能を搭載しており、無線LAN通信の混雑状態などを把握でき、より安定的に運用できる設置場所や設定を確認することができます。加えて、LAN ケーブルによって受電するPoE※1機能を搭載しており、PoEの給電機器と組み合わせて使用することで、高所など電源の確保が難しい場所にも容易に設置できます。

既にヤマハルーター・ファイアウォール（以下、ヤマハルーター）※2をご利用の場合であれば、そのGUI画面で複数台の『WLX302』の設定や管理を一元的に行えます。さらに、MDM(Mobile Device Management）と呼ばれるスマートデバイスを管理する機能も搭載。『WLX302』を経由して遠隔地のスマートデバイスの状態の確認や、操作を行うことが可能です。さらに、不適切なアプリケーションの使用を制限したり、スマートデバイスの紛失や盗難の際にリモート操作でロックや初期化も行えます。

(注 1) 出典：「国内ルーター市場 2011 年の分析と 2012 年～2016 年の予測」（IDC Japan #J12010103、2012 年 5 月発行）内の「国内 SOHO ルーター市場 ベンダー別出荷台数／エンドユーザー売上額実績、2010 年～2011 年」より

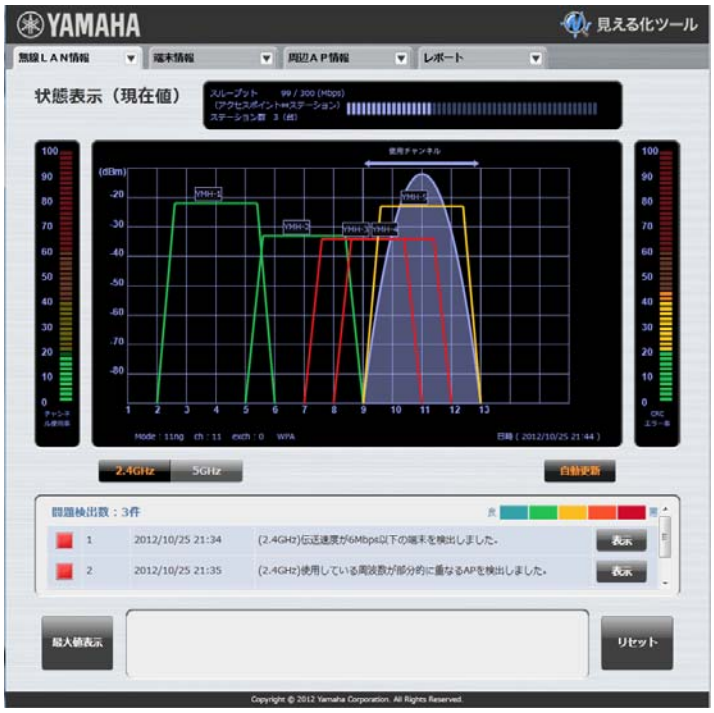
＜主な特長＞

1. 無線 LAN の「見える化」機能
2. ヤマハルーターによる集中管理
3. モバイルデバイス管理（MDM）

1. 無線 LAN の「見える化」機能

『WLX302』は、無線 LAN の 電波状況を可視化できる「見える化」機能を搭載しています。「見える化」機能ではスループット・周辺のアクセスポイント・チャンネル使用率・CRC エラー率・接続端末の情報などを確認できます。また、検出した値をヤマハが独自に策定した基準で評価し、その結果を分かりやすく色別に表示します。これにより、常に変化する無線 LAN の状態を視覚的に把握することができます。

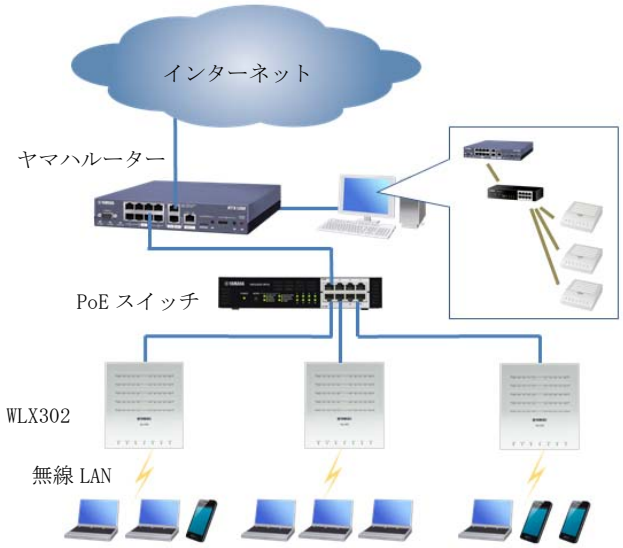
さらに、「見える化」機能には、検出した値が一定値を越えるとその時の無線 LAN の状態を自動保存するスナップショット機能があるため、”通信が遅い”、”つながらない”といった障害発生時の状態を後日確認することができます。これまで難しかった無線 LAN のトラブルシューティングにも役立ちます。



「見える化ツール」画面

2. ヤマハルーターによる集中管理

『WLX302』はスイッチ制御機能を搭載したヤマハルーターによって集中管理することが可能です。ヤマハルーターの GUI 画面に、その配下にある『WLX302』や対応するヤマハスマート L2 スイッチ「SWX2200 シリーズ」をわかりやすいネットワーク構成図の形で表示でき、各機器のポート単位での接続確認、VLAN や無線 LAN の設定に至るまで、様々な管理機能を実現できます。



ヤマハルーター経由で WLX302 を管理するイメージ

また、インターネット経由で各拠点にあるヤマハルーターにアクセスすることで、現地に専門の技術者を派遣しなくても、迅速な対応が可能になります※3。

3. モバイルデバイス管理（MDM）

『WLX302』は、スマートデバイスの安全な管理・運用をサポートする MDM（Mobile Device Management）機能を搭載しています。この機能を使って、業務で使用するスマートデバイスを一元的に管理・運用することが可能です。例えば、スマートデバイスの管理者名・機種名などの資産情報や稼働状態を確認したり、不適切なアプリケーションやカメラなどの起動を制限することが可能です。また、スマートデバイスが紛失や盗難にあった場合には、遠隔地からスマートデバイスのロックや初期化ができるため、情報漏えいを防ぐことが可能です。また、『WLX302』からスマートデバイスに対して無線 LAN や VPN（iOS のみ）設定の配信ができることにより、企業内でのスマートデバイス導入を容易にします。

なお、MDM 機能は、発売時点では iOS 端末（iPhone/iPad/ iPod touch）に対応した”試用版”として搭載します。その後、Android 端末に対応した上で、有償オプションとして提供する予定です。

スマートデバイスの使用制限などのポリシー設定画面

スマートデバイスの運用ポリシーの設定画面

＜その他機能・オプション＞

■デュアルバンド対応による高速かつ安定的な無線 LAN 接続

『WLX302』は、2.4GHzと5GHzの周波数帯域に対応しており、それぞれの周波数帯域毎に50台ずつ、合計100台までの無線LAN端末と同時に通信することが可能です。また、最大伝送速度の理論値が300MbpsのIEEE802.11n規格に対応しており、高速な無線LAN環境を構築できます。

■GUI による わかりやすい設定画面に加え、ネットワーク管理機能を搭載

ヤマハルーターで培ってきたパソコンのブラウザーを使ったGUIによる「かんたん設定ページ」をさらに進化させ、たいへんわかりやすく設定ができるようになっています。また、ヤマハルーター同様 TELNETやシリアルコンソール※4からの設定も可能。さらに、SNMPやRADIUSサーバーなどさまざまな管理機能を搭載しています。

■さまざまな設置環境に対応可能

『WLX302』は、IEEE802.3af 準拠のPoEの受電機能を搭載しているため、PoEの給電機器と組み合わせて使用することで、高所などの電源の確保が困難な場所への設置を容易に行うことができます。また、壁や天井などに設置するための取り付け金具も付属しています。

壁掛け設置のイメージ

天井設置のイメージ

さらに、『WLX302』へのPoE給電機器として最適なスマートL2スイッチ「SWX2200-8PoE」を 2013年4月に発売する予定です。

スマート L2 スイッチ
SWX2200-8PoE

■安心のセキュリティー機能

『WLX302』は、無線LAN通信を暗号化するAES、TKIP、WEP(64bit/128bit)の各方式に対応しており、認証方式としてPSK、WPA/WPA2パーソナル、WPA/WPA2エンタープライズ、MACアドレス認証に対応しています。さらに『WLX302』は簡易RADIUSサーバーを内蔵しているので、別途サーバーを用意することなく最大100台までの無線LAN端末のWPA/WPA2エンタープライズ認証が可能です。
また、2.4GHz帯と5GHz帯それぞれ8個ずつのSSIDを登録できるマルチSSID機能を搭載し、SSID毎に暗号化や認証方式を設定できます。IEEE802.1QのタグVLANにも対応しているので、さまざまなネットワーク構成に柔軟に対応します。

■『WLX302』で利用可能なオプション

品名	品番	JAN コード	希望小売価格＜税込＞	発売時期
電源アダプター	YPS-12V	49 60693 23687 1	4,725 円 (本体価格 4,500 円)	2013 年 3 月
RJ-45 コンソールケーブル	YRC-RJ45C	49 60693 23688 8	5,040 円 (本体価格 4,800 円)	2013 年 3 月

・『WLX302』はPoE受電でのご利用を想定しており、環境に配慮して電源アダプターを同梱しておりません。電源アダプターご使用の場合は、上記「YPS-12V」(別売)をご利用ください。
(「YPS-12V」は、「NVR500」でもご利用いただけます。)
・『WLX302』はGUIによる設定を想定しており、コンソールケーブルを同梱しておりません。コンソールによる設定を行う場合は、上記「YRC-RJ45C」(別売)をご利用ください。

YPS-12V

YRC-RJ45C

※1 PoE:LAN ケーブルを使って電力を供給する技術。

※2 2013 年 3 月時点での対応機種は「RTX1200」のみの予定です。
以後「RTX810」「NVR500」「FWX120」が、順次バージョンアップにて『WLX302』との連携に対応する予定です。

※3 拠点間で経路が確立されている必要があります。

※4 別売りのRJ-45コンソールケーブル「YRC-RJ45C」をご利用ください。

◆今回発表した『WLX302』およびスマートL2スイッチ「SWX2200-8PoE」と、
9月20日発表のファイアウォール「FWX120」について、下記日程で新製品説明会を行う予定です。

開催日	実施場所	会場
2012年11月16日(金)	札幌	アスティ45
2012年11月22日(木)	新潟	新潟テルサ
2012年11月27日(火)	仙台	TKPガーデンシティ仙台
2012年11月30日(金)	福岡	八重洲博多ビル
2012年12月5日(水)	大阪	メルパルク大阪
2012年12月11日(火)	東京	ベルサール秋葉原
2012年12月14日(金)	名古屋	栄ガスビル
2013年1月18日(金)	金沢	石川県地場産業振興センター
2013年1月24日(木)	長野	メルパルク長野
2013年1月29日(火)	広島	メルパルク広島

詳しい情報は、弊社ホームページ(http://jp.yamaha.com/products/network/)に掲載予定です。

＜仕様一覧＞

型番	WLX302
希望小売価格(税込)	オープン価格
JAN コード	49 60693　23707 6
LAN ポート	1 ポート(10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T、ストレート/クロス自動判別)
コンソールポート(設定用)	1 ポート(RJ-45) (※1)
アンテナ	2.4GHz 帯用×2 本、5GHz 帯用×2 本　を本体に内蔵
Flash ROM	256MB(ファームウェア:1 組、コンフィグ:1 組)
RAM	256MB
状態表示ランプ	上面:7　(POWER、STATUS、INFO、LAN、2.4GHz、5GHz、SLAVE)
動作環境条件	周囲温度 0ー40℃、周囲湿度 15ー80%(結露しないこと)
最大消費電力	11w
最大消費電流	電源アダプター(※2)　　:AC100V(50/60Hz) 0.2A PoE(IEEE802.3af 準拠):DC36～57V 0.3A
発熱量	39.6kJ/h
筐体	上面:プラスチック筐体、底面:金属シャーシ、ファンレス
電波障害規格、環境負荷物質管理	VCCI クラス A、RoHS 対応
外形寸法	160(W)×40(H)×178(D)mm　(突起部含む)　　※平置き、壁掛け、天井設置が可能
質量	本体 670g(付属品含まず)、取り付け金具一式 190g、電源アダプター(別売) 170g
付属品	冊子(はじめにお読みください、保証書)、CD-ROM(1 枚:[PDF]取扱説明書・はじめにお読みください・コマンドリファレンス)、取り付け金具
無線 LAN 規格	5GHz 帯:IEEE802.11a/n、 2.4GHz 帯:IEEE802.11b/g/n
2.4GHz/5GHz 利用	同時利用可能
5GHz 対応チャンネル帯	W52/W53/W56
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
認証方式	オープン、PSK、WPA/WPA2 パーソナル、WPA/WPA2 エンタープライズ、MAC アドレス
暗号化方式	AES、TKIP、WEP(64bit/128bit)
接続端末数	5GHz 帯:最大 50 台、 2.4GHz 帯:最大 50 台　　最大 100 台
マルチ SSID	5GHz 帯:8 個、2.4GHz 帯:8 個　合計 16 個
タグ VLAN(IEEE802.1Q)	○
セキュリティー機能	プライバシーセパレータ、Any 接続拒否、MAC アドレスフィルタリング、パスワード設定、接続台数制限、送信出力調整機能、ステルス SSID
管理プロトコル	SNMP(v1)
ファームウェアの更新	TFTP からのリビジョンアップ、GUI からの(HTTP)リビジョンアップ
設定手段	コンソール(※1) 、TELNET、WWW(日本語による Web 設定ページ)、TFTP によるダウンロード/アップロード、ヤマハルーター(※3) の GUI/コマンドによるバックアップ
RADIUS サーバー	簡易型
ロギング機能	メモリに蓄積、SYSLOG での出力
ログの内容	各種機能の動作状況など
対応サプリカント	【マイクロソフト社】Windows XP SP3 OS 標準サプリカント、Windows7 Professional OS 標準サプリカント

機能	QoS、DHCP クライアント、メール通知機能、NTP クライアント、スケジューリング機能
拡張機能	ヤマハルーターによる集中管理(ヤマハルーター1 台あたり 32 台までコントロール可能)、無線の見える化ツール、MDM(Mobile Device Management)(※4)
オプション	電源アダプター、RJ-45 コンソールケーブル
デフォルト IP アドレス	192.168.100.240

(※1) 別売りの RJ-45 コンソールケーブル「YRC-RJ45C」をご使用ください。

(※2) 必ず別売りの電源アダプター「YPS-12V」をご使用ください。

(※3) 2013 年 3 月時点での対応機種は「RTX1200」のみの予定です。
以後「RTX810」「NVR500」「FWX120」が、順次バージョンアップにて『WLX302』との連携に対応する予定です。

(※4) 発売時は iOS 端末(iPhone/iPad/iPod touch)に対応した"試用版"として搭載します。その後 Android OS に対応をした上で、有償オプションとして提供する予定です。

＊文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。
＊2012 年 11 月現在の情報です。仕様および機能の名称は予告なく変更することがあります。

ヤマハ　無線 LAN アクセスポイント『WLX302』

希望小売価格　オープン価格

※WLX302 の画像データは下記プレスサイトよりダウンロードできます。
http://jp.yamaha.com/news_release/

この件に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

■報道関係の方のお問い合わせ先
広報部　宣伝・ウェブコミュニケーショングループ
窪井、千葉
〒108-8568　東京都港区高輪 2-17-11
TEL　03－5488－6605
FAX　03－5488－5063
ウェブサイト　http://jp.yamaha.com/news_release/
（取材申し込みや広報資料請求が可能です。）

■一般の方のお問い合わせ先
ヤマハ株式会社　ヤマハルーターお客様ご相談センター
〒430-8650　静岡県浜松市中区中沢町 10-1
TEL　03－5651－1330
FAX　053－460－3489
ホームページ URL
http://jp.yamaha.com/products/network
http://www.rtpro.yamaha.co.jp/